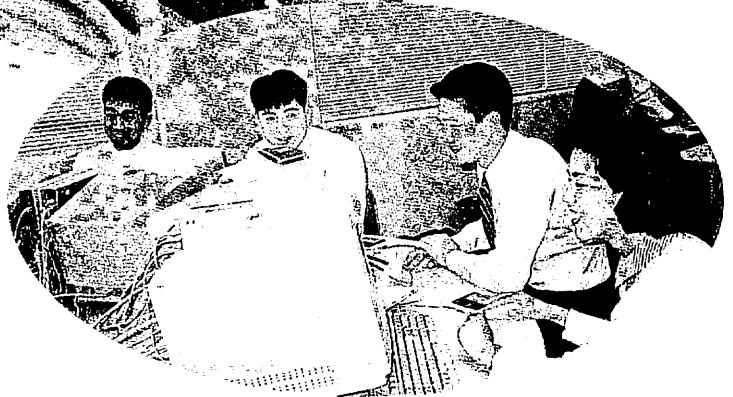




「高等学校初任者  
研修講座」  
授業で使えるかなー

「これは何かな？」(答えは3ページにあります)



# 総合教育センターだより

◇ — も く じ — ◇

- ・ 高等学校初任者研修講座から…………… 1
- ・ これは何かな? …………… 1
- ・ 総合教育センターの幕明けにあたり…………… 2
- ・ 夏休み天文教室のご案内…………… 3
- ・ 動き始めた「教育ネットAkita」…………… 4
- ・ 魅力ある講座—追加希望受付中—…………… 5
- ・ 好評 どうぞ宿泊室のご利用を…………… 6
- ・ 平成7年度公開講演一覧…………… 6

平成7年7月14日発行

## 秋田県総合教育センター

〒010-14 南秋田郡天王町天王字追分西29番地の76

TEL 0188 (73) 7200 (代表)

0188 (73) 7206 (すこやか電話相談)

FAX 0188 (73) 7201

パソコン通信 0188 (73) 7207 (代表)

パソコン通信 0188 (73) 7210 (FAX)

0188 (72) 1020 (INS64)

# 総合教育センターの幕明けにあたり



所長 森谷 裕二

このセンターだよりは、秋田県総合教育センターとしての第1号である。さかのぼれば、26年前それまでの県教育研究所と県理科教育センターを廃止・統合し、秋田県教育センターができてから通算62号の教育センターだよりを発行してきた。その一つ一つに時代に即した研究と研修を実施してきた先人のたゆみない努力が表れており、今改めて敬意を表したい。数的に見ても、教育センターが仁井田に在った26年間の延べ受講者数は約22万7000人にのぼり、これを県内公立学校教員数約1万1200人で割るとおよそ20.3になる。つまり1人の先生が26年間に20回以上センターに足を運んだことになる。このように本県教職員の資質向上に多大の役割を果たしてきた旧教育センターも、その使命を終え、建物もこの5月、南高校に後を譲り解体された。新しいものが生まれる半面で、古いものが消え去るのは歴史の必定であるが、旧センターの立派な業績は受け継いでいかなければならないと思う。

## ■ 新しいセンターに 新しい風を ■

さて、本年4月1日から業務を開始した総合教育センターは、6月の繁忙期に入り、連日たくさんの先生方を迎えている。これまですでに63回の研修講座を終了した。加えて県内外からの視察・参観者も予想以上に多く、文部省関係者、天王町民の方々など現在まで450人を超えるという盛況ぶりである。これら受講の先生方や参観の方が新センターについて感嘆するのは、第一に、駐車場、玄関ホール、講堂、諸研修室、ラウンジなどのスペースの広さと明るさであり、第二に、コンピュータ、電子顕微鏡、プラネタリウム、LH装置、体育施設、日常生活学習室などの設備のすばらしさであり、第三に、食堂、宿泊の個室、浴室の利便さである。ために、受講の先生方の表情が実に明るい。

ところで、自明のことながら、これらの優れた建物や設備はそれ自体ではなんら働いてはくれない。人間がそれらの持つ機能を真に作用させてはじめて有用性が出てくるのであって、それをしなければ、単にそこに在るだけに過ぎない。大事なのは、新しい施設、設備に見合う人間の側の運用の仕方である。ハード面からソフト面の充実に意を注がなければならない。古来、新しい酒は新しい革袋に盛れと言わ

れているように、総合教育センターにも新しい風を入れていかなければならない。そのためには、センターの三大事業である研究・研修・指導援助の目的や内容、方法について、常に新鮮な目で絶えざる見直しをすることが肝要と思う。

## ■ 変化する社会への対応を 21世紀は近い ■

見直しを進める観点として挙げられるのは、一つは急速に変化する社会への対応であり、一つは本県の教育課題への対応である。

前者を考えると、最も参考にしたいのが、第15期中央教育審議会への「21世紀を展望した我が国の教育の在り方」についての諮問である。その中の主要検討事項と関連させて、今後総合教育センターで力を入れるべきこととして考えられる主なものは次のようなものであろう。

- マルチメディア時代に向けて——小・中・高・特各教員へのコンピュータ活用の基礎的知識・技術の習得を図る研修の拡充。良質で使い易いソフトウェアの研究開発。マルチメディアの特性を生かした学習指導方法の研究開発。パソコン通信（教育ネット Akita）ネットワーク機能の整備、拡充。
- 国際化、国際理解に向けて——中・高英語教員に対するオーラルコミュニケーション能力の向上を図る研修の拡充。外国人を交えた異文化理解のための国際理解教育研修講座の実施。などである。また、後者の本県の教育課題を見据えたものとしては、
- いわゆる学力向上に向けて——大学入試センター試験や公立高校入試あるいは県教委実施の学習状況調査（小・中校）に表れている本県児童生徒に共通に見られる学習のつまずきについて、その改善のための調査研究と、各校種合同の指導法の研修の実施。
- 心の教育の推進に向けて——自然体験や企業、福祉施設などでの社会体験を通し、人間性の陶冶を深める体験研修の拡充。などである。

新総合教育センターの恵まれた条件を最大限に生かし、我々所員一同力を合わせてこれらの課題に取り組む、本県教育の進展に向けて努力していきたい。総合教育センターの幕明けにあたり、関係各位の一層の御理解と御支援をお願いする次第である。

# 子供たちを対象とした 夏休みの天文教室のご案内

当総合教育センターでは、今年度新規導入したプラネタリウムや屈折式天体望遠鏡等を活用して、8月16日からの3日間、「夏休みプラネタリウム教室」と「親子夏休み星の観測教室」を開催します。この機会に、子供たちにたっぷり星座に親しんでいただきたく、ご案内をいたします。「親子夏休み星の観測教室」については、予約なしの自由参加になりますので、各学校で児童生徒に紹介して下さるようお願いいたします。

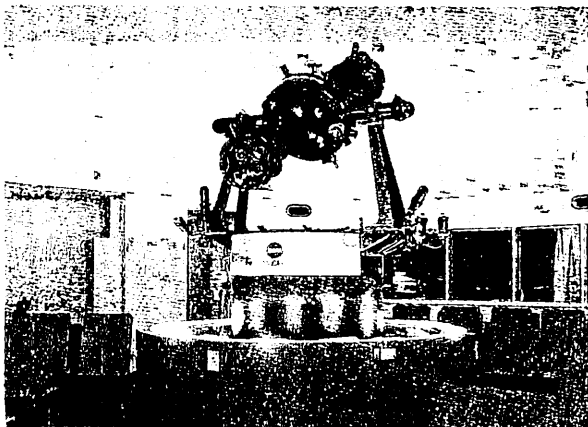
## 「夏休みプラネタリウム教室」

星座の美しさやロマンに触れるひとときをプラネタリウムで過ごしてみませんか。

- 対象 教職員が引率する児童生徒・保護者
- 期間と放映時間  
8月16日(水)～18日(金)までの3日間  
\* 1日3回、各1時間のプログラムを予定しています。放映時間帯は次のとおりです。

第1回目 (10:30～11:30)  
第2回目 (13:00～14:00)  
第3回目 (14:30～15:30)

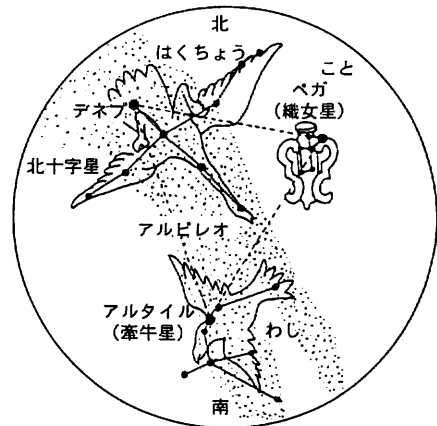
- 1回の定員 42名
- 申し込みの方法
  - ① 参加を希望される学校は、まず、教科研修部天文施設担当係へ電話(☎0188-73-7203)で予約してください。
  - ② 次に、当センターから郵送される所定の申込書に必要事項を記載して、正式に申し込んでください。
- \* 定員に達して利用できない場合には、冬休みも計画していますのでご検討ください。



— プラネタリウムで夜空の散歩 —

## 「親子夏休み星の観測教室」

夏の美しい夜空を見上げ、果てしない宇宙のすばらしさにたっぷり浸ってみませんか。



— 見つけよう、夏の大三角形! —

- 対象 小・中学校の児童生徒と保護者
- 期日と開催時間  
8月16日(水)～18日(金)までの3日間  
午後7時から午後9時まで
- 集合場所と受付場所  
当日、総合教育センターに受付場所を設定しますので、午後6時50分まで、お集りいただき、そこで参加申し込みをしてください。夜間の天文教室ですので、保護者同伴でご参加ください。
- 持ち物  
懐中電灯  
\* 野外での星座の観測が中心となりますが、天体望遠鏡を利用した観測も行います。  
\* 雨天や曇天で星を観察することができない場合には、プラネタリウム学習会または映写会に変更いたします。  
\* 「天王町広報」にもこの観測教室の紹介をいたします。

「表紙写真「これは何かな?」の答」  
「クモの眼」総合教育センターの電子顕微鏡で撮影、500倍



先の案内でご存じのように、6月1日をもって秋田県総合教育センター・新パソコン通信システム『教育ネットAkita』の運用を開始しました。

●『教育ネットAkita』のねらい

『教育ネットAkita』は、すでに学校に設置されているパソコンの有効活用を最大の課題に据え、パソコンを活用できる先生たちを養成すること、総合教育センター等のデータを機能的に提供することを目的としています。また、利用者と県内すべての教育関係機関を結ぶ新たな手立てとして、学校、教育機関、教職員間の教育情報の交流を図ることもねらいとしています。

●県内3地区におけるパソコン通信説明会

このように、さまざまな活用が期待されるパソコン通信ですが、学校現場では、まだまだなじみの薄い情報手段です。パソコン通信とは何か、何ができるのか、こんな疑問に答えるため、すでに湯沢北中学校、比内中学校を会場に、同校の先生たちによるパソコン通信を活用した授業の提示と、説明会を開催しました。地域の教育委員会の方々も参加くださり、研修を深めることができました。7月21日には、西目中学校を会場に行う予定です。開催の折には、お近くの方々には参加し、パソコン通信の教育利用について理解を深めていただきたいものです。



〈比内中学校での説明会〉

●『教育ネットAkita』の利用状況

6月にスタートしたばかりの『教育ネットAkita』ですが、最初の1ヵ月間に2,400回以上の利

用がありました。これは1日に換算すると、平均80回以上利用されたこととなります。また、自由に自分の意見を発表できる場＝フォーラムには、自作プログラムや自作評価票などのデータが、6月だけで25件も登録いただいています。この場を借りて、貴重な情報を提供くださった方々に感謝するとともに、今後とも『教育ネットAkita』の充実に協力くださるようお願いいたします。

●個人ID（アイディ）の発給

IDとは、パソコン通信の中で自分を他と識別するための英数字を用いた記号で、いわば、パソコン通信の中だけで通用する名前に相当します。『教育ネットAkita』では6月末日現在、903のIDを登録しています。そのほとんどは、学校や教育機関等の団体ですが、一部、総合教育センターが実施しているパソコン通信関連講座に参加した方々にもIDを発給しています。

しばらくは、学校をあげてパソコン通信を利用いただくためにも所属の学校のIDを使っていただきたいと考えていますが、専門のIDを希望する方々のために次のような方法で個人IDを発給することにしました。

個人IDを希望する方は、A4の用紙に以下の内容を記入し、総合教育センターパソコン通信担当まで、郵送またはFAXでお送りください。なお、様式のひな形は電子掲示板にも登録しておきますから、ご利用ください。

- ・氏名 ・所属校 ・使用パソコンの機種
- ・使用するモデムの機種と通信速度

申請の申し込みは、8月から開始します。なお、一か月分の希望をまとめて処理するため、登録完了までに若干の時間がかかることを了承ください。

●フォーラムの新規開設

現在、実験的に6つのフォーラムを開設し、情報交換の場を提供しています。新たなフォーラムの開設については、運営責任者に関する問題、著作権の保護に関する問題など、さまざまな問題があります。これらの問題について、細部にわたり研究をすすめてきていますが、具体的な対応が決まり次第、順次、新しいフォーラムを開設していきたいと考えています。

情報の交換については、当面、『パソ通実験フォーラム』の電子会議室やデータライブラリを活用してくださるよう、お願いします。

# 魅力ある講座

—追加希望受付中—

各研修部における今年度の新しい取り組みについて、また、まだ追加申し込みのできる講座を紹介します。

## 教職研修部

○生き生きと活動する子供を育てる特別活動 8月17日

県内の小・中学校で、精力的に取り組まれている「ふるさと教育」の実践校の発表を取り入れ、ふるさと教育と特別活動との接点を探ります。

○子供を生かすチームティーチング 8月22日

昨年に引き続き2年目の講座です。全国の動向を踏まえながら、チームティーチングの実施のねらいや、県内の小・中学校で行われている具体的事例の紹介など、実践にすぐ役立つ内容としています。

○新学力観に立った指導と評価（小学校）11月17日

新しい学力観という考え方は浸透していますが、新しい学力観に立った授業とは、どんな授業で、どのように評価活動をしていくのか。具体的な授業レベルでの学習をイメージしながら、評価活動の在り方や情報収集の仕方、通知表の改善の視点などについて明確にします。

## 教科研修部

○地域のよさを味わう生活科 秋の体験 11月17・18日

秋の自然を直接体験し、地域のよさを味わい、地域性豊かな授業づくり、カリキュラムの作成等、講座内容が充実しております。田沢湖青少年スポーツセンターでの宿泊研修は実りあるものになります。

○中・高等学校Lリスニング 10月4日

世界の様々な英語をリスニングできます。レベルは初級から上級まで、内容も今日的な社会問題から興味深いトピックスまで、世界を聞くことができます。また、ジャンル別のテープやフリーの時間も設けます。各自がリスニングの自己診断もでき、新しい機種での美しい英語を味わい、ネイティブ・スピーカーで生の英語を聞く場も持ちます。

○秋田の風土と文学 10月4日

タイトルにふさわしい講師をそろえた新設講座です。秋田大学の教授による講義、地元の詩人の講話及び小学校での実践報告です。秋田の風土と文学の関連を知ることにより、郷土に対して理解を深めることができます。

## 情報教育研修部

○視聴覚教材作成（ビデオ）研修講座 9月25日・26日

新設したスタジオを利用して、授業に生きるビデオ教材を作成します。スタジオにある調整室では、撮影した映像の高度な合成・編集ができます。また、アナウンスブースでのナレーションの吹き込みなども可能です。

第一日目には、秋田大学の浦野弘教授から、「視聴覚教材の活用による授業改善」のテーマで講話があります。

○授業に生かすパソコン（中・高）研修講座

（中）11月16・17日、（高）12月4・5日

各学校に導入されているパソコンを、授業等でどのように活用していったらよいのか、児童生徒の情報活用能力育成の観点から研修を行います。

パソコンを活用した授業の実践事例の紹介をはじめ、思考、表現、コミュニケーション等の活動の演習を通して、これからのパソコン活用に関する具体的な方法を探ります。

パソコンに堪能な先生ばかりでなく、これから授業でパソコンを活用してみようと思っている初心者の先生方の参加も歓迎します。

## 特殊教育・相談研修部

○学校教育相談事例研究（登校拒否）7月27日・10月12日

今や登校拒否は、隣クラスの問題ではなくなってきています。しかし、対処する画一的な方法はありません。一人一人の事例について話し合いながら、様々な視点から子供の自立のために糸口を探します。

○学校教育相談事例研究（問題行動）7月28日・10月26日

最近、「いじめ」の問題の根絶が大きな学校教育の課題となっています。問題の解決を期して、教師の姿勢や、子供たちが学校にどんな支援を求めているかを考えてみます。

○WISC-R知能検査 11月7日・8日

学習につまずきをもつ、問題行動が続く、といった児童生徒の理解と指導のために、教育的診断ができる方法といくつかの検査法の演習を行います。

**好評!**

## どうぞ宿泊室のご利用を

4月の開所以来、好評のうちに利用いただいている宿泊棟の利用者が6月19日で、ちょうど千人目になりました。

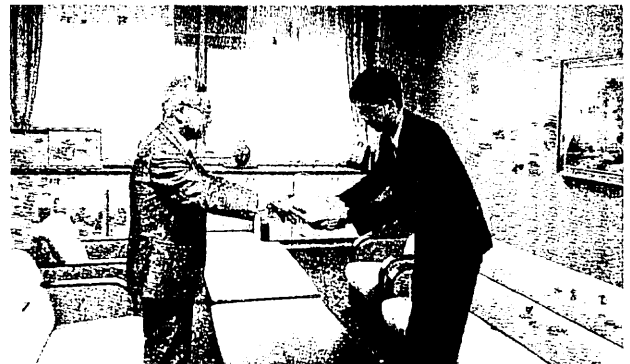
講師宿泊室・指導員宿泊室・身障者宿泊室が各1室と一般宿泊室100室を備えており、研修管理棟同様冷暖房完備の上、各室ともベッドと机のほかに壁掛けタイプのコートハンガーとタオルハンガーと卓上鏡を備えてあります。寝具は浴衣・シーツ・カバーを用意してありますので、洗面用具を持参いただければ快適にお過ごしいただけます。

宿泊料は無料となっております。食事は食堂（グリルまつばら）で食券を買い求めの上召し上がっていただきます。

また、宿泊する方々にくつろいでいただくために各階にラウンジがあり、テレビを設置しておりますので歓談等活用していただいています。一階には約50畳の和室がありグループや講座単位の情報交換会

にも活用され好評を得ております。

申し込み方法については、当センター発行の「研修講座案内」の102ページに掲載しておりますので、1週間前までにFAXもしくは郵送により申し込みいただければ満室の場合を除きお受けいたしますので早めに手続き願います。



千人目の宿泊者となり、森谷所長から記念品を受ける北秋田郡田代町立田代中学校の小笠原茂人先生

### 平成7年度 公開講演一覧 (9月以降の分)

月日 (曜日)	時刻	研修講座名 演題	所属・職名	講師名
9月19日 (火)	10:30 ~12:00	A-22 小・中新任研究主任 「百姓彫りの嘉左エ門の 生き方」	彫刻家 十文字町議会 議員	皆川 嘉左エ門
11月6日 (月)	14:30 ~16:00	B-14 生徒指導総合 「人生劇場の配役」	元秋田市立 山王中学校長	船越 準蔵
11月15日 (水)	9:00 ~10:30	A-20 小・中新任教務主任 「男のロマンを求めて」	西根木材 有限会社社長	西根 正

### お気軽に 当センターへご相談を!

登校拒否やいじめなど、子供の心身の健全な発達を阻害するいそのある行為や状態は、子供たちが教師や親に「おれたちの気持ちがかかるか」と突きつけたサインだと言われています。学校は、そのサインを的確に解いてあげなければなりません。かえって問題を深刻化させたりする心配のある時、対応についてちょっと自信のない時など、どうぞお気軽にご相談ください。

- 問題を抱えた児童生徒と直接相談します。
- 今後の対応について先生方へ相談を受けます。
- 家庭でどう対応するか保護者とも相談します。

### 学校から保護者にも、紹介してください。

具体的な相談の内容

- ☆登校をいやがる
- ☆学習をふるわない
- ☆情緒が不安定である
- ☆性格・行動上に問題がある
- ☆進路について悩んでいる
- ☆ことばの発達が遅れている
- ☆体の発達が遅い
- ☆目や耳が不自由である
- ☆就学先について困っている
- その他 気にかかることについて

- ★相談日・時間 月～金、9時～5時
- ★電話(直通) 0188-73-7205、7206